

平成26年度

事業報告

自：平成26年4月1日

至：平成27年3月31日

公益財団法人 京都技術科学センター

# 平成26年度事業報告

## I 公益目的事業1 (研究助成事業)

研究機関等に所属する研究者が行う研究開発を支援・促進することによって、技術立国日本の発展に関する科学技術に寄与するため、その研究開発等に必要な経費を助成するとともに、次年度に助成対象とする研究開発テーマを募集し、選考した。

### 1 平成26年度研究開発助成金の交付

平成25年度センター選考委員会で審査選考した研究開発助成テーマの研究開発に必要な経費を助成した。

- ア 名称 平成26年度研究開発助成金  
 イ 助成金総額 1,100万円  
 ウ 助成テーマ 11テーマ (一覧表は、下記のとおり：応募55テーマ)  
 エ 研究期間 平成26年4月から平成27年3月まで 1年間  
 オ 研究成果 「研究助成成果報告書」のとおり

平成26年度研究開発助成テーマ等一覧表

No.	研究開発助成テーマ	助成金交付対象者			助成額 (万円)
		所属	役職等	氏名	
1	酸化チタンとの複合化が拓く次世代蓄電池用ケイ素系負極の創製	鳥取大学大学院工学研究科化学・生物応用工学専攻	准教授 工学博士	薄井 洋行	100
2	不飽和炭化水素の触媒的直接シアノ化反応の開発	京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻	助教 理学博士	岡本 和紘	100
3	高分子界面構造制御による燃料電池の高効率化	北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科	准教授 理学博士	長尾 祐樹	100
4	蛍光バイオイメージング剤を指向した近赤外光増強型シリカ被覆金ナノロッドの開発	和歌山大学システム工学部精密物質学科	准教授 工学博士	中原 佳夫	100
5	刺激応答性動的結合を利用した超分子アクチュエータの創製	大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻	助教 理学博士	高島 義徳	100
6	第三世代パイ共役ポリマーの創製と外部刺激応答性蛍光材料への展開	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科物質工学部門	助教 工学博士	本柳 仁	100

7	軽量純チタン材の新しい超微細粒組織形成と高機能化・実用塑性加工への新展開	香川大学工学部 材料創造工学科	准教授 工学博士	松本 洋明	100
8	高機能性電気絶縁材料の創製による電気トリー進展制御	大阪府立産業技術総合 研究所製品信頼性科	研究員 工学博士	岩田 晋弥	100
9	交流磁場中で著しく発熱するガーネット型フェライト微粒子の最適化	新居浜工業高等専門学校 校環境材料工学科	助教 工学博士	平澤 英之	100
10	セルロースナノファイバーの新規紡糸法による高強度繊維の開発	京大大学生存圏研究所 生物機能材料分野	准教授 農学博士	阿部賢太郎	100
11	酸化物ガラス蛍光体の発光中心の局所構造制御	京都大学化学研究所	助教 工学博士	正井 博和	100

## 2 平成27年度研究開発助成の研究テーマの募集と選考

40歳未満の大学教員等が実施する研究開発を支援するため、平成27年度に助成する研究開発助成テーマを募集し、選考委員会を開催して選考のうえ、理事会（平成27年3月24日開催）の承認を得て助成テーマを決定した。

ア 助成対象者 北陸地方から中・四国地方までの地域にある国公立大学等の理工学部系に在籍する40歳未満の若手研究者

イ 研究分野 新素材の開発及び機能に関する基礎的並びに応用的な研究

ウ 募集期間 平成26年11月1日から平成27年1月20日まで

エ 応募テーマ数 64テーマ

オ 助成テーマ数 11テーマ

カ 選考委員会の開催状況

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成27年1月31日 ～2月14日	(書面審査)	平成27年度研究開発助成テーマの選考について(第1次審査)
第2回 平成27年3月2日	センター 会議室	平成27年度研究開発助成テーマの選考について(第2次審査)

## II 公益目的事業2（人材育成事業）

技術立国日本の発展に寄与するため、科学技術の振興とそれを担う人づくりに関する以下の事業を行った。

### 1 技術セミナー

新素材の開発、従来材の新しい性能発現プロセスから、最終使用目的に合致した材料プロセス等の動向や可能性について理解を深めるとともに、新技術の開発や生産技術及

び加工技術の向上を図ることを目的として、技術セミナーを開催した。

ア 名 称 平成26年度ものづくり基盤技術セミナー

イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター  
京都府中小企業技術センター

ウ 内 容

	開催日・テーマ等	
第1回	日 時	平成26年9月24日(水) 13:30~16:30
	場 所	京都府産業支援センター 5階 研修室
	テ ー マ	疲労破壊の事例紹介と金属疲労の基礎知識
	講 師	立命館大学 理工学部機械工学科 特任教授 酒井 達雄 氏
	参 加 者	35名
第2回	日 時	平成26年10月6日(月) 13:30~16:30
	場 所	京都府産業支援センター 5階 研修室
	テ ー マ	機械・構造物の疲労設計法と信頼性保証技術
	講 師	立命館大学 理工学部機械工学科 特任教授 酒井 達雄 氏
	参 加 者	38名
第3回	日 時	平成26年12月5日(月) 13:30~16:30
	場 所	京都府産業支援センター 5階 研修室
	テ ー マ	研磨加工の大変革—研磨能率が倍以上に向上—
	講 師	立命館大学 理工学部機械工学科 教授(東京大学名誉教授) 谷 泰弘 氏
	参 加 者	37名
第4回	日 時	平成27年1月27日(火) 13:30~16:30
	場 所	京都府産業支援センター 5階 研修室
	テ ー マ	表面分析技術の基礎と具体事例
	講 師	奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 准教授 服部 賢 氏
	参 加 者	35名

## 2 技術研究会

### (1) CAE技術研究会

設計・製造分野においてCAE(Computer Aided Engineering)が普及してきたが、CAEを「ものづくり」の中で適切に活用するためには、まだまだ乗り越えなければならない課題がある。

そのため、CAEの概説から実習、事例研究を通じて、生産プロセス開発に必要なデータの収集及び解析など基礎的な学習を行い、設計者が日常の仕事に活用できる技術を修得するためのCAE技術研究会を開催した。

ア 名 称 CAE技術研究会

イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター  
京都府中小企業技術センター

ウ 場 所 京都府産業支援センター  
 エ 参加者 関連企業の研究者・技術者（8名）  
 オ 講 師 田村技術士事務所・京都府特別技術指導員 田村隆徳 氏  
 株式会社島津製作所 CS統括部 笠井貴之 氏  
 カ 内 容

例 会	開 催 日	内 容
平成26年 4月度	4月18日（金）	ADINAの基本的な操作の習得
5月度	5月9日（金）	CAEの総論と線形構造解析の座学 複雑な形状の線形解析の習得 材料力学の習得
6月度	5月23日（金） 6月13日（金）	線形構造解析の実習 複雑な形状の線形解析の作成 非線形構造解析の習得
7月度	6月27日（金） 7月11日（金） 7月25日（金）	CAEの非線形解析実習 熱の定常及び非定常解析の習得 CAEの熱モデル解析実習
8月度	8月8日（金） 8月22日（金）	熱応力解析の習得 CAEの熱応力モデル解析実習
9月度	9月12日（金） 9月26日（金）	振動解析の習得 事例研究の準備
10月度	10月10日（金）	事例研究
11月度	11月14日（金）	事例研究
12月度	12月12日（金）	事例研究
平成27年 1月度	1月16日（金）	事例研究
2月度	2月13日（金）	事例研究
3月度	3月20日（金）	成果発表会

※開催時間は、いずれも午前10時から午後5時

## (2) DLC製膜技術研究会

環境問題やエネルギー問題がクローズアップされるなか、高硬度、低摩擦係数、耐食性など機械的特性に優れたDLC (Diamond-Like Carbon) 膜が低環境負荷技術として注目され、自動車部品や産業機器部品、金型等に適用されており今後さらに用途が拡大していくことが予測される。

このため、実際の製品などへの製膜実験を実施し、耐久性や性能を評価するとともに、参加企業の抱える課題解決やDLC皮膜の新規用途展開の可能を検討するためのDLC製膜技術研究会を開催した。

ア 名 称 DLC製膜技術研究会  
 イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター  
 京都府中小企業技術センター  
 ウ 場 所 京都府産業支援センター  
 エ 講 師 京都工芸繊維大学大学院機械システム工学部門 助教 中村守正 氏

	開催日・テーマ等
オープン セミナー	<p>日 時 平成26年12月17(水) 14:00 ~17:00</p> <p>場 所 京都府中小企業技術センター 5F 研修室</p> <p>参加者 22名</p> <p>内 容</p> <p>【講演1】「DLC膜を用いた無潤滑転動の実用化」  講師：兵庫県立大学大学院工学研究科准教授 阿保 政義 氏  スラスト型転がり疲労寿命試験機を用いてPBIID法でDLCを成膜されたステンレス鋼球の転がり寿命と摩擦特性を無潤滑下で調査し、DLC成膜鋼球による無潤滑ボールねじ実用化の可能性を検討した結果を紹介いただいた。</p> <p>【講演2】「高密度プラズマで高速成膜が可能に～PIGプラズマCVD法によるDLCコーティング～」  講師：神港精機株式会社 寺山 暢之 氏  低エネルギーで大電流イオンが容易に得られるPIG (Penning Ionization Gauge) タイプのプラズマガンを独自開発し、これをCVD装置に採用し開発したPIG プラズマCVD装置の特徴と最近のDLC適用事例を紹介いただいた。</p>
例 会	<p>日 時 平成26年12月16日(火) 午前10時から午後5時</p> <p>場 所 京都府中小企業技術センター研究室</p> <p>内 容 ラマン分光測定による評価</p>
	<p>日 時 平成27年3月2日(月) 午前10時から午後5時</p> <p>場 所 京都府中小企業技術センター研究室</p> <p>内 容 機械部品への成膜実験</p>
	<p>日 時 平成27年3月12日(木) 午前10時から午後5時</p> <p>場 所 京都府中小企業技術センター研究室</p> <p>内 容 ナノインデンテーション試験機による評価</p>

### (3) 京都品質工学研究会

製造業では、ユーザーのニーズにマッチした魅力的な製品を生み出すことも重要であるが、その製品を低コストで製造上のトラブルも市場クレームも起こさせない安定した製品・設計・製造技術を開発することが大きな課題となっている。

品質工学は、将来起こるかもしれないトラブルを未然に防いで、製品が引き起こす様々な損失を最小化する汎用性の高い技術論で、安定した設計・製造技術を効率よく開発する手法として広く活用されている。

このため、技術者が品質工学を学び、実践し、交流する場として、効率的な技術・製品開発を実現するための技術力を持つ人材の育成を目的として品質工学研究会を開催した。

ア 名 称 京都品質工学研究会

イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター  
京都府中小企業技術センター

ウ 場 所 京都府産業支援センター

エ 参加者 法人会員24、個人会員6

例会	日時	内容
特別例会	5月9日(金)	関西／滋賀県品質工学研究会 合同例会
第1回	6月13日(金)	講演「パラメータ設計の進め方」及び事例研究 講師：コニカミノルタ(株) 芝野 広志氏
基礎学習会	6月30日(月)	講演「機能性評価とパラメータ設計」及び実習 講師：京都府特別技術指導員 近本 武次氏
第2回	7月11日(金)	講演「技術開発・製品開発における技術を完成させる適正な時期」及び相談 講師：(有)アイテックインターナショナル中野恵司氏
第3回	9月12日(金)	講演「S/N比の解説～計算・数理の基礎と留意点～」及び事例発表 講師：コニカミノルタ(株) 芝野 広志氏
第4回	10月3日(金)	関西／滋賀県品質工学研究会 合同シンポジウム
第5回	11月14日(金)	講演「製品開発のための統計解析入門」 講師：統計数理研究所・データ科学研究系 河村敏彦氏
第6回	12月12日(金)	講演「直交表について～パラメータ設計での効用を中心に～」及び事例発表とグループディスカッション 講師：コニカミノルタ(株) 芝野 広志氏
第7回	2月13日(金)	講演「難削材における切削技術開発」と事例発表 講師：(有)アイテックインターナショナル 中野恵司氏
第8回	3月13日(金)	講師「化学における TAGUCHI METHOD」及び事例発表 講師：(有)アイテックインターナショナル 中野恵司氏

### 3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業、科学技術の発展を担うベンチャー精神に富む起業家や、柔軟でユニークな発想をもつ研究者育成のため、大学の部及び高校の部に分けてテクノアイデアコンテストを開催し、専門家による審査・選考のうえ表彰し、副賞を授与するとともに、特別講演や特許出願等の相談を行った。

コンテスト終了後は、受賞者・参加者及び選考委員等による情報交換のための交流会を開催した。

#### (1) 主催等

ア 名称	テクノ愛2014
イ 主催	テクノ愛実行委員会
ウ 共催	公益財団法人京都技術科学センター 京都大学産官学連携本部
エ 後援	近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会 NHK京都放送局、日本ベンチャー学会、関西ベンチャー学会
オ 協賛	独立行政法人科学技術振興機構、京都工芸繊維大学ベンチャー・ラボラトリー、大阪大学産学連携本部、神戸大学連携創造本部、大阪電気通信大学、関西サイエンス・フォーラム
カ 協力	京都大学生協同組合

(2) 募集等

- ア 募集対象 大学の部・・・高等専門学校4・5年生、大学生、大学院生  
高校の部・・・高校生、高等専門学校1～3年生
- イ 募集期間 平成26年6月10日～平成26年9月12日
- ウ 応募総数 高校の部 356件  
大学の部 134件  
合 計 490件

(3) コンテストの開催

書類選考により選ばれた大学の部、高校の部それぞれ9件についてのプレゼンテーションによる発表・審査と交流会を開催した。

- ア 日 時 平成26年11月23日(日・祝) 9:30～18:00
- イ 場 所 ①発表会：京都大学「北部総合教育研究棟(益川記念館)」  
②交流会：京都大学正門横“カンフォーラ”
- ウ 入 賞 高校の部 9件  
大学の部 9件  
入賞の内容は別記のとおり
- エ 特別講演 「大学におけるアイデアや発明を”価値”につなげる取組み」  
京都大学産官学連携本部 特任教授 桑島修一郎氏
- オ 特許相談 特許電子図書館による特許情報の検索方法や出願方法に係る相談  
カ 来 聴 者 120名

テクノ愛2014入賞アイデア等一覧表

<高校の部>

賞 名	入賞アイデア	学 校 名	入賞者氏名
グランプリ	「第3のエコ資材」の考案・開発	静岡県立富岳館高等学校	農業クラブ
準グランプリ	線香花火から見える自然の世界	新居浜工業高等専門学校	篠原未結季 谷 明莉
優 秀 賞	遠隔コミュニケーションロボット “Rakuyo Hand II”の開発	京都市立洛陽工業 高等学校(機械工 作部)	堀口 椋太 山口 侃大 西村 達也 西木 翔 塗師 岳人 西村 和也 山下 将吾
奨 励 賞	プラナリアを用いた水質監視装置	山口県立山口高等 学校	金石 暁典 金谷 啓之 藤村 志穂 松本 久也
	Lotus Spiral-温故知新なるエネル ギーの創出-	京都市立伏見工業 高等学校	田中 慎也
	“ORANDA”～風力・曲率感知 コントローラ～	京都市立洛陽工業 高等学校	山口 侃大



	花びら絵具	関西大学高等部	斯波 瑠香
	ふりかけ tool (とーる)	新居浜工業高等専門学校	鈴木裕貴子
	救急車用ストレッチャー	関西大学高等部	杉山 舞

<大学の部>

賞名	入賞アイデア	学校名	入賞者氏名
グランプリ	ブロッキン現象を用いた光輪発生器 (特許申請検討中)	大阪府立大学	岡 直樹 岡部 俊輝 中嶋 太一 本間 愛彩 脇山 拓也
準グランプリ	再利用だけで終わらせない～古紙利用はここまでできる!～	新居浜工業高等専門学校	近藤 美咲 二宮由利絵 藤信 幸美
優秀賞	ココいけコンコン	京都工芸繊維大学 大学院	檜崎 洋子 橋口 豊 前田真梨子 弓部 央奈 吉川 元乃 劉 燁
奨励賞	マゲCAM	京都工芸繊維大学 大学院	最上 聖也 ウォルン・エミ リー 麗 片岡 竜成 津田 啓史 矢島 健志
	メーシ図鑑	大阪大学	佐原 慶亮
	SOJIC～初心者のための演奏デバイス～	京都工芸繊維大学 大学院	鳥本 拓志 津田井美香 小中 貴晃 植木 淳也 小島 惇 浅野 絵理
	排気ガスを利用した植物の育成と大気の浄化	慶応義塾大学	早川 嘉樹
	遠隔アニマルセラピーシステム	筑波大学大学院	村田 耕一
	ココカサ	京都工芸繊維大学 大学院	深沢 太郎 別所 直哉 神山 薫

			西田 亮輔 埜中友紀菜
--	--	--	----------------

<テクノ愛賞>

アイデア	学校名	入賞者氏名
“Lotus Spiral-温故知新なるエネルギーの創出-”	京都市立伏見工業高等学校	田中 慎也

#### (4) 委員会開催状況

##### ア テクノ愛実行委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成26年6月10日	(書面会議)	1 平成26年度テクノアイデアコンテストの応募等について 2 審査・選考方法について
第2回 平成26年11月23日	京都大学	1 コンテスト、表彰、交流会について 2 次年度計画について

##### イ テクノ愛選考委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成26年9月17日 ～24日	(書面審査)	1 平成26年度応募アイデアの選考について(第1次審査) 2 特許調査について
第2回 平成26年10月5日 ～15日		
第3回 平成26年11月23日	京都大学	1 平成26年度テクノアイデアコンテストの審査について(第2次審査)

#### 4 科学館・技術館訪問研修

21世紀をより豊かで夢のある社会にするためには、科学技術の進展が不可欠であり、創造性豊かな若者を育てることが求められている。

そのためには、青少年のときから科学技術の楽しさ、おもしろさなどを体験し、学ぶことが極めて重要である。

そこで、1896年(明治29年)地場産業であった蚕糸業の振興を目的に創業、下着や肌着類はもとよりタッチパネル等の電子部品、生体吸収性縫合糸の開発など幅広い活動を展開されているグンゼ株式会社の“記念館及び博物苑(京都府綾部市)”を訪問し、生徒と先生方が一緒に学ぶ研修会を開催した。

- (1) 名 称 科学館・技術館訪問研修
- (2) 日 時 平成26年8月1日(金)13:30～16:00
- (3) 場 所 「グンゼ記念館及び博物苑」  
京都府綾部市青野町膳所1

- (4) 参加者 高校生及び教諭 31名  
(5) 主催 公益財団法人京都技術科学センター  
(6) 後援 近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会  
(7) 内容 金野苑長から、創業者波多野鶴吉氏の生い立ち、創業に至ったいきさつ、創業の精神（人間尊重・共存共栄）、社名「グンゼ」の由来（元は「郡是）」、三つの章句（誠意・愛情・謙虚）などのお話をお聞きした。

また、NPO法人綾部ベンチャー・ものづくりの会の廉屋巧氏から、蚕の一生、蚕の外形、蚕の飼育、蚕の繭づくりなどについて、実物をもとに分かりやすいお話をお聞きした。

そのあと、グンゼ創業時の様子や技術を、当時の製糸機械類などで紹介している歴史蔵、ファッションの歴史、現在のファッションの紹介をしているファッション蔵、創業当時からの歩みの展示、創業者室、蚕糸室、教育室、錦絵ギャラリーなど展示している記念館を見学した。

## 5 おもしろサイエンス

小学生に、科学実験・工作イベントを通じて、学び・知り・作ることの喜び、楽しさを体験させ、科学への関心や理解を深めるため、冬休み・春休みを利用しての実験教室を開催した。

### (1) 主催等

- ア 主催 公益財団法人京都技術科学センター  
イ 後援 京都府教育委員会  
京都市教育委員会  
ウ 協力 サイエンスEネット

### (2) 開催状況

#### 第1回

- ア 名称 クリスマスの実験教室  
イ 日時 平成26年12月21日（日）13:00～15:30  
ウ 場所 公益財団法人京都技術科学センター ホール  
エ 参加者 小学生36人（親子29組）  
オ プログラム

#### ① ベンハムのコマ

白黒の模様が描かれているコマを回すと、紫、栗色、薄茶色、黄色、草色、ピンクなどの色合いが見えてくる現象を観察した。

#### ② ニュートンのコマ

7色の帯が描いてあり、これを回すと全面灰白色一色になる現象を観察した。

#### ③ 舞台実験

地球がコマのように回りながら太陽のまわりをまわっている現象を学んだ。

#### ④ くるくるアニメ

1枚の円盤の表側に鳥かごの絵を、裏側に小鳥の絵を描き、この円盤をくるくる回すと小鳥が籠の中に入ってしまうくるくるアニメを作製した。

#### ⑤ ゴートロープ

内側に連続させた絵をはりつけ、その外側に等間隔ののぞき窓（スリット）を設けた壁を取付け、のぞき窓からのぞく回転のぞき絵を作製した。

#### 第2回

- ア 名称 春の実験教室  
イ 日時 平成27年3月21日（土・祝日）13:00～15:30

ウ 場 所 公益財団法人京都技術科学センター ホール

エ 参加者 小学生41名（親子38組）

オ プログラム

① 手作り湿度計

湿ると伸びる板と湿っても伸びない板を張り合わせたバイメタル式のコイルが、湿度変化によって円弧を描くことを利用したお天気カエル湿度計を工作した。

② 手作り温度計

ピンポン球に、赤色の液体を入れたストローを接合して温度計測部を作り、温風と氷水で温度を上下させ、温度目盛りを付けたピンポン玉温度計を作製し、温度を測定した。

## 6 科学技術情報等提供

ホームページを活用し、センターが実施するセミナーや研究会等のイベント情報を提供することによって、利用者やイベント参加者の拡大を図った。

また、研究開発助成テーマ、テクノアイデアコンテスト入賞アイデア、おもしろサイエンスのプログラム等を掲載し、啓発に努めた。

情報公開としては、当センターの沿革・概要及び事業計画・事業実施報告並びに収支予算・決算状況等をホームページに掲載した。

\*ホームページアドレス：<http://www.khc.or.jp>

## III 収益事業

公益目的事業が、より効果的、かつ、安定的に推進できるよう、本法人が所有する建物・土地を原資として、研究室、事務室、駐車場として賃貸するとともに、会議室、ホールを貸し出し、その収益を公益目的事業の実施に活用した。

### 1 研究施設等の貸与（(1)、(4)及び(5)は、平成27年3月31日現在）

(1) 研究室・事務室の活用団体数	28団体	(平成25年度	26団体)
(2) 会議室等利用件数	63件	(同	61件)
(3) 工作機械使用時間数	0時間	(同	9時間)
(4) 駐車場活用台数	35台	(同	41台)
(5) 収納庫活用室数	21室	(同	21室)

### 2 建物・付属設備等の管理

主な修繕・改修工事として、次の工事を行った。

- (1) 本館1階事務室エアコン更新
- (2) 本館1階8号室電気設備改修工事
- (3) 本館1階東側女子トイレ污水管改修工事

## IV センターの運営

### 1 センターの概要（平成27年3月31日現在）

設 立	昭和17年12月28日（財団法人京都技術科学館として設立）
	昭和35年12月27日（財団法人近畿地方発明センターに名称変更）
	平成24年4月1日（公益財団法人京都技術科学センターに名称変更）
評 議 員	14名
役 員	16名（理事14名 監事2名）
委 員	研究助成選考委員会委員 6名
	研究助成委員会委員 4名
	建物等管理委員会委員 6名

テクノ愛実行委員会委員 6名  
同 選考委員会委員 13名

## 2 定時理事会の開催状況

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成26年 5月29日	センター会議室	I 決議事項 1 平成25年度事業報告の件 2 平成25年度決算の件 3 平成26年度定時評議員会の招集の件 II 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行報告について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について
第2回 平成27年 3月24日	センター会議室	I 決議事項 1 平成27年度事業計画書の件 2 平成27年度収支予算書等の件 3 平成27年度研究開発助成金交付対象者等の決定の件 4 内部諸規程の改定の件 II 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行報告について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について

## 3 臨時理事会の開催状況

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成26年 6月12日 (午後)	センター会議室	I 決議事項 1 理事長、副理事長及び常務理事の選定の件 2 公益目的事業の内容の変更認定申請の件 3 顧問の承認の件 II 報告事項 1 建物維持管理等検討方途について 2 建物賃貸借契約の状況について
第2回 平成26年 9月9日	センター会議室	I 決議事項 1 調停条項案の承認及び常置委員会委員選任の件 2 委員会の設置及び委員の選任の件 II 報告事項 1 平成26年度戦略的基盤技術高度化支援事業の採否及び公益目的事業の内容の変更認定審査状況について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について
第3回 平成26年 12月12日	(書面会議)	I 決議事項 1 建物等管理委員会委員の選任について

#### 4 定時評議員会の開催状況

開催年月日	場 所	主 な 議 題
平成26年 6月12日 (午前)	センター会議室	I 決議事項 1 評議員選任の件 2 役員選任の件 3 平成25年度事業報告の件 4 平成25年度決算承認の件 5 定款の変更の件  II 報告事項 1 建物賃貸借契約の状況について

#### 5 監事監査

開催年月日	場 所	内 容
平成26年 5月20日	センター会議室	平成25年度事業報告及び決算の監査

#### 6 研究助成委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成26年 9月9日	センター会議室	1 委員長の選任 2 今後の委員会の議事進行方法について
第2回 平成26年 10月24日	(書面会議)	1 研究開発助成選考委員会の構成等について 2 研究開発助成テーマについて
第3回 平成26年 12月8日	(書面会議)	1 理事会への提言について

#### 7 建物等管理委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成26年 12月19日	センター会議室	1 建物等管理委員会について 2 今後の検討スケジュールについて
第2回 平成27年 2月19日	センター会議室	1 マンハイム鴨川管理組合との協議状況について 2 建物等維持管理に係る優先順位の検討について 3 耐震診断について

## 事業報告の附属明細書

定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する平成26年度事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

# 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	11,283,265	13,432,281	△ 2,149,016
未収金	3,281,850	1,995,285	1,286,565
仮払金	0	28,693	△ 28,693
流動資産合計	14,565,115	15,456,259	△ 891,144
2 固定資産			
(1) 基本財産			
建物（本館及び分館）	74,018,021	77,654,840	△ 3,636,819
土地	12,600,000	12,600,000	0
土地共有権	137,515,000	137,515,000	0
基本財産合計	224,133,021	227,769,840	△ 3,636,819
(2) 特定資産			
基本預金	95,000,000	95,000,000	0
役員退職慰労引当資産	2,828,616	2,530,000	298,616
減価償却引当資産	120,527,000	113,998,758	6,528,242
事業安定積立資産	5,000,000	5,000,000	0
納税積立資産	2,300,000	2,300,000	0
建物維持積立資産	21,000,000	21,000,000	0
受入保証金引当資産	29,797,000	33,502,000	△ 3,705,000
特定資産合計	276,452,616	273,330,758	3,121,858
(3) その他固定資産			
建物（倉庫）	1	1	0
建物附属設備	12,226,381	13,446,780	△ 1,220,399
構築物	200,855	215,521	△ 14,666
工作機械・機器	6	6	0
什器備品	1,433	2,832	△ 1,399
ソフトウェア	106,029	155,372	△ 49,343
差入保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	12,584,705	13,870,512	△ 1,285,807
固定資産合計	513,170,342	514,971,110	△ 1,800,768
資産合計	527,735,457	530,427,369	△ 2,691,912
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払費用	178,521	181,995	△ 3,474
前受金	426,164	849,663	△ 423,499
預り金	354,473	231,531	122,942
賞与引当金	363,000	363,000	0
未払法人税等	341,700	70,000	271,700
未払消費税	2,861,600	1,446,600	1,415,000
流動負債合計	4,525,458	3,142,789	1,382,669
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	2,828,616	2,530,000	298,616
受入保証金	29,797,000	33,502,000	△ 3,705,000
固定負債合計	32,625,616	36,032,000	△ 3,406,384
負債合計	37,151,074	39,174,789	△ 2,023,715
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄附金	20,000	20,000	0
指定正味財産合計	20,000	20,000	0
（うち基本財産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )
（うち特定資産への充当額）	( 20,000 )	( 20,000 )	( 0 )
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	490,564,383	491,232,580	△ 668,197
（うち基本財産への充当額）	( 224,133,021 )	( 227,769,840 )	( △ 3,636,819 )
（うち特定資産への充当額）	( 243,827,000 )	( 237,298,758 )	( 6,528,242 )
正味財産合計	490,584,383	491,252,580	△ 668,197
負債及び正味財産合計	527,735,457	530,427,369	△ 2,691,912



# 貸借対照表内訳表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
<b>I 資産の部</b>					
<b>1 流動資産</b>					
現金預金	6,499,857	4,268,623	514,785		11,283,265
未 収 金	605,111	2,632,550	44,189		3,281,850
流動資産合計	7,104,968	6,901,173	558,974		14,565,115
<b>2 固定資産</b>					
(1) 基本財産					
建物（本館及び分館）	13,656,325	58,651,881	1,709,815		74,018,021
土 地	0	12,600,000	0		12,600,000
土地共有権	25,371,517	108,966,886	3,176,597		137,515,000
基本財産合計	39,027,842	180,218,767	4,886,412		224,133,021
(2) 特定資産					
基本預金	0	0	95,000,000		95,000,000
役員退職慰労引当資産	2,130,656	279,061	418,899		2,828,616
減価償却引当資産	23,958,500	93,568,500	3,000,000		120,527,000
事業安定積立資産	0	5,000,000	0		5,000,000
納税積立資産	0	2,300,000	0		2,300,000
建物維持積立資産	3,874,500	16,640,400	485,100		21,000,000
受入保証金引当資産	0	29,797,000	0		29,797,000
特定資産合計	29,963,656	147,584,961	98,903,999		276,452,616
(3) その他固定資産					
建物（倉庫）	0	1	0		1
建物付属設備	1,544,936	10,488,013	193,432		12,226,381
構築物	37,057	159,159	4,639		200,855
工作機械・機器	0	6	0		6
什器備品	196	1,137	100		1,433
ソフトウェア	64,295	34,142	7,592		106,029
差入保証金	9,225	39,620	1,155		50,000
その他固定資産合計	1,655,709	10,722,078	206,918		12,584,705
固定資産合計	70,647,207	338,525,806	103,997,329		513,170,342
資産合計	77,752,175	345,426,979	104,556,303		527,735,457
<b>II 負債の部</b>					
<b>1 流動負債</b>					
未払費用	18,962	159,559	0		178,521
前受金	0	426,164	0		426,164
預り金	110,046	244,427	0		354,473
賞与引当金	218,000	107,000	38,000		363,000
未払法人税等	0	341,700	0		341,700
未払消費税	0	2,861,600	0		2,861,600
流動負債合計	347,008	4,140,450	38,000		4,525,458
<b>2 固定負債</b>					
役員退職慰労引当金	2,130,656	279,061	418,899		2,828,616
受入保証金	0	29,797,000	0		29,797,000
固定負債合計	2,130,656	30,076,061	418,899		32,625,616
負債合計	2,477,664	34,216,511	456,899		37,151,074
<b>III 正味財産の部</b>					
<b>1 指定正味財産</b>					
寄附金	0	0	20,000		20,000
指定正味財産合計	0	0	20,000		20,000
（うち基本財産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( )	( 0 )
（うち特定資産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 20,000 )	( )	( 20,000 )
<b>2 一般正味財産</b>					
一般正味財産合計	75,274,511	311,210,468	104,079,404		490,564,383
（うち基本財産への充当額）	( 39,027,842 )	( 180,218,767 )	( 4,886,412 )	( )	( 224,133,021 )
（うち特定資産への充当額）	( 27,833,000 )	( 117,508,900 )	( 98,485,100 )	( )	( 243,827,000 )
正味財産合計	75,274,511	311,210,468	104,099,404		490,584,383
負債及び正味財産合計	77,752,175	345,426,979	104,556,303		527,735,457

# 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	<b>57,641,743</b>	<b>52,910,854</b>	<b>4,730,889</b>
施設使用料	48,910,070	43,531,271	5,378,799
収納庫使用料	1,743,120	1,682,100	61,020
駐車場使用料	6,988,553	7,697,483	△ 708,930
② 特定資産運用益	<b>579,403</b>	<b>576,939</b>	<b>2,464</b>
特定資産受取利息	579,403	576,939	2,464
③ 事業収益	<b>879,800</b>	<b>915,000</b>	<b>△ 35,200</b>
技術セミナー事業収益	118,000	35,000	83,000
技術研究事業収益	761,800	880,000	△ 118,200
④ 施設設備運用益	<b>1,544,203</b>	<b>1,445,739</b>	<b>98,464</b>
施設使用料	809,076	786,600	22,476
会議室等使用料	735,127	655,359	79,768
開放機器貸付料	0	3,780	△ 3,780
⑤ 光熱水使用収益	<b>5,997,351</b>	<b>5,307,886</b>	<b>689,465</b>
電気使用料	5,954,271	5,266,748	687,523
水道等使用料	43,080	41,138	1,942
⑥ 雑収益	<b>62,372</b>	<b>74,868</b>	<b>△ 12,496</b>
受取利息	4,971	4,249	722
自動販売機商品売上手数料	54,001	63,019	△ 9,018
雑収益	3,400	7,600	△ 4,200
経常収益計	<b>66,704,872</b>	<b>61,231,286</b>	<b>5,473,586</b>
(2) 経常費用			
① 事業費	<b>62,391,727</b>	<b>59,877,972</b>	<b>2,513,755</b>
役員報酬	3,973,373	3,967,439	5,934
給料手当	7,199,610	8,399,523	△ 1,199,913
臨時雇賃金	206,155	177,580	28,575
賞与引当金繰入額	325,000	325,000	0
役員退職慰労引当金繰入額	272,800	272,608	192
福利厚生費	1,414,241	1,308,956	105,285
会議費	284,896	265,255	19,641
旅費交通費	354,240	356,590	△ 2,350
通信運搬費	619,579	525,006	94,573
減価償却費	6,499,800	6,795,902	△ 296,102
消耗什器備品費	66,808	105,720	△ 38,912
消耗品費	492,136	466,972	25,164
賞品費	1,283,105	1,179,701	103,404
修繕費	603,959	366,372	237,587
印刷製本費	310,608	365,960	△ 55,352
電力費	8,055,559	7,155,287	900,272
光熱水料費	391,385	347,684	43,701
賃借料	944,950	832,135	112,815
保険料	246,420	246,966	△ 546
諸謝金	3,176,600	2,877,500	299,100
租税公課	11,704,423	10,210,446	1,493,977
支払負担金	78,245	142,358	△ 64,113
助成金	11,000,000	10,400,000	600,000
渉外費	7,668	5,250	2,418
委託費	2,782,110	2,691,983	90,127
雑費	98,057	89,779	8,278

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費	<b>3,120,176</b>	<b>2,985,196</b>	<b>134,980</b>
役員報酬	687,475	689,725	△ 2,250
給料手当	888,210	1,038,110	△ 149,900
賞与引当金繰入額	38,000	38,000	0
役員退職慰労引当金繰入額	47,200	47,392	△ 192
福利厚生費	207,315	166,827	40,488
会議費	100,942	74,161	26,781
旅費交通費	78,650	68,340	10,310
通信運搬費	27,651	24,112	3,539
減価償却費	142,226	145,012	△ 2,786
消耗什器備品費	0	3,007	△ 3,007
消耗品費	36,692	31,838	4,854
修繕費	6,779	18,277	△ 11,498
印刷製本費	19,364	0	19,364
電力費	132,562	109,424	23,138
光熱水料費	8,246	7,254	992
賃借料	95,429	88,622	6,807
保険料	3,954	3,954	0
諸謝金	399,000	233,000	166,000
租税公課	138,377	138,254	123
負担金	1,155	4,877	△ 3,722
渉外費	1,940	0	1,940
委託費	52,175	48,994	3,181
雑 費	6,834	6,016	818
経常費用計	<b>65,511,903</b>	<b>62,863,168</b>	<b>2,648,735</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	<b>1,192,969</b>	<b>△ 1,631,882</b>	<b>2,824,851</b>
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
当期経常増減額	<b>1,192,969</b>	<b>△ 1,631,882</b>	<b>2,824,851</b>
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 雑 益	<b>649,300</b>	<b>419,500</b>	<b>229,800</b>
雑 益	649,300	419,500	229,800
経常外収益計	<b>649,300</b>	<b>419,500</b>	<b>229,800</b>
(2) 経常外費用			
① 経常外費用その他	<b>2,168,766</b>	<b>0</b>	<b>2,168,766</b>
経常外費用その他	2,168,766	0	2,168,766
経常外費用計	<b>2,168,766</b>	<b>0</b>	<b>2,168,766</b>
当期経常外増減額	<b>△ 1,519,466</b>	<b>419,500</b>	<b>△ 1,938,966</b>
他会計振替額	0	0	0
当期税引前一般正味財産増減額	<b>△ 326,497</b>	<b>△ 1,212,382</b>	<b>885,885</b>
法人税、住民税及び事業税	<b>341,700</b>	<b>70,000</b>	<b>271,700</b>
当期一般正味財産増減額	<b>△ 668,197</b>	<b>△ 1,282,382</b>	<b>614,185</b>
一般正味財産期首残高	<b>491,232,580</b>	<b>492,514,962</b>	<b>△ 1,282,382</b>
一般正味財産期末残高	<b>490,564,383</b>	<b>491,232,580</b>	<b>△ 668,197</b>
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,000	20,000	0
指定正味財産期末残高	20,000	20,000	0
III 正味財産期末残高	<b>490,584,383</b>	<b>491,252,580</b>	<b>△ 668,197</b>

正味財産増減計算書内訳表  
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合 計
	公1	公2	共通	計	収益事業			
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益	0	0	0	0	57,641,743	0	0	57,641,743
施設使用料					48,910,070	0	0	48,910,070
収納庫使用料					1,743,120	0	0	1,743,120
駐車場使用料					6,988,553	0	0	6,988,553
② 特定資産運用益	0	0	69,523	69,523	283,491	226,389	0	579,403
特定資産受取利息			69,523	69,523	283,491	226,389	0	579,403
③ 事業収益	0	879,800	0	879,800	0	0	0	879,800
技術セミナー事業収益		118,000		118,000	0	0	0	118,000
技術研究会事業収益		761,800		761,800	0	0	0	761,800
④ 施設設備運用益	0	0	0	0	1,544,203	0	0	1,544,203
施設使用料					809,076	0	0	809,076
会議室等使用料					735,127	0	0	735,127
開放機器貸付料					0	0	0	0
⑤ 光熱水使用収益	0	0	0	0	5,997,351	0	0	5,997,351
電気使用料					5,954,271	0	0	5,954,271
水道等使用料					43,080	0	0	43,080
⑥ 雑収益	0	0	1,332	1,332	60,792	248	0	62,372
受取利息			1,332	1,332	3,391	248	0	4,971
自動販売機商品売上手数料					54,001	0	0	54,001
雑収益					3,400	0	0	3,400
経常収益計	0	879,800	70,855	950,655	65,527,580	226,637	0	66,704,872
(2) 経常費用								
① 事業費	14,916,986	12,811,159	5,032,044	32,760,189	29,631,538		0	62,391,727
役員報酬	1,814,934	1,699,812	0	3,514,746	458,627			3,973,373
給料手当	806,703	4,474,662	0	5,281,365	1,918,245			7,199,610
臨時雇賃金	0	176,074	0	176,074	30,081			206,155
賞与引当金繰入額	35,520	182,480	0	218,000	107,000			325,000
役員退職慰労引当金繰入額	124,608	116,704	0	241,312	31,488			272,800
福利厚生費	215,993	700,798	53,986	970,777	443,464			1,414,241
会議費	17,280	222,616	45,000	284,896	0			284,896
旅費交通費	4,960	344,760	4,520	354,240	0			354,240
通信運搬費	67,836	411,972	69,179	548,987	70,592			619,579
減価償却費	0	0	1,137,089	1,137,089	5,362,711			6,499,800
消耗什器備品費	0	0	28,857	28,857	37,951			66,808
消耗品費	54,789	330,415	26,961	412,165	79,971			492,136
賞品費	0	1,283,105	0	1,283,105	0			1,283,105
修繕費	0	0	54,138	54,138	549,821			603,959
印刷製本費	138,456	172,152	0	310,608	0			310,608
電力費	0	0	1,058,774	1,058,774	6,996,785			8,055,559
光熱水料費	0	0	65,862	65,862	325,523			391,385
賃借料	0	245,220	619,424	864,644	80,306			944,950
保険料	0	19,750	33,251	53,001	193,419			246,420
諸謝金	625,000	2,089,600	300,000	3,014,600	162,000			3,176,600
租税公課	0	0	1,086,071	1,086,071	10,618,352			11,704,423
支払負担金	0	62,300	9,661	71,961	6,284			78,245
支払助成金	11,000,000	0	0	11,000,000	0			11,000,000
渉外費	0	7,668	0	7,668	0			7,668
委託費	0	252,240	416,741	668,981	2,113,129			2,782,110
雑費	10,907	18,831	22,530	52,268	45,789			98,057
② 管理費						3,120,176	0	3,120,176
役員報酬						687,475		687,475
給料手当						888,210		888,210
賞与引当金繰入額						38,000		38,000
役員退職慰労引当金繰入額						47,200		47,200
福利厚生費						207,315		207,315
会議費						100,942		100,942
旅費交通費						78,650		78,650
通信運搬費						27,651		27,651
減価償却費						142,226		142,226
消耗品費						36,692		36,692
消耗什器備品費						6,779		6,779
修繕費						19,364		19,364
電力費						132,562		132,562
光熱水料費						8,246		8,246
賃借料						95,429		95,429
保険料						3,954		3,954
諸謝金						399,000		399,000
租税公課						138,377		138,377
負担金						1,155		1,155
渉外費						1,940		1,940
委託費						52,175		52,175
雑費						6,834		6,834
経常費用計	14,916,986	12,811,159	5,032,044	32,760,189	29,631,538	3,120,176	0	65,511,903
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 14,916,986	△ 11,931,359	△ 4,961,189	△ 31,809,534	35,896,042	△ 2,893,539	0	1,192,969
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産供花損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 14,916,986	△ 11,931,359	△ 4,961,189	△ 31,809,534	35,896,042	△ 2,893,539	0	1,192,969
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
① 雑益	0	0	605,111	605,111	0	44,189	0	649,300
雑益	0	0	605,111	605,111	0	44,189	0	649,300
経常外収益計	0	0	605,111	605,111	0	44,189	0	649,300
(2) 経常外費用								
① 経常外費用その他	0	0	0	0	2,168,766	0	0	2,168,766
経常外費用その他	0	0	0	0	2,168,766	0	0	2,168,766
経常外費用計	0	0	0	0	2,168,766	0	0	2,168,766
当期経常外増減額	0	0	380,980	605,111	△ 2,168,766	44,189	0	△ 1,519,466
他会計振替額	14,916,986	11,931,359	4,351,655	31,200,000	△ 33,900,000	2,700,000	0	0
当期税引前一般正味財産増減額	0	0	△ 4,423	△ 4,423	△ 172,724	△ 149,350	0	△ 326,497
法人税、住民税及び事業税					341,700	0		341,700
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 4,423	△ 4,423	△ 514,424	△ 149,350	0	△ 668,197
一般正味財産期首残高	0	0	75,278,934	75,278,934	311,724,892	104,228,754	0	491,232,580
一般正味財産期末残高	0	0	75,274,511	75,274,511	311,210,468	104,079,404	0	490,564,383
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
III 正味財産期末残高	0	0	75,274,511	75,274,511	311,210,468	104,099,404	0	490,584,383